保多留

◆建設的な生き方へのお手伝い （*Just do it！*）◆
～あなたの悩み事は当社までご相談下さい～
【今月の一冊】　在り方
松永茂久 著　サンマーク出版
ホームページ　URL http://primecorporation.jp/

発行日　2023年1月1日　Vol. 243
発行元　有限会社プライム・コーポレーション
代表取締役　渡 邉 敏 徳
〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147番地
TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

ジャイアントキリング

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。皆様にとってこの1年が素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げます。

ジャイアントキリングは、スポーツの試合などで明らかに格上の相手から（大方の予想を覆して）勝利をもぎ取る、いわゆる「大番狂わせ」を意味する表現です。

ジャイアントキリング（giant killing）は英語由来の表現で、「Jack the Giant Killer」と呼ばれる童話（ジャックと豆の木）が直接の語源とされます。（強大な巨人を打ち負かすというモチーフ自体は旧約聖書に遡れる）

ジャイアントキリングは、サッカーなどでよく使われている言葉ですが、スポーツの面から見てみるとその特徴は分かりやすいと思います。昨年開催されたサッカーの FIFA ワールドカップ2022カタール大会が、11月20日から12月18日まで開催されました。その大会の中で、日本は過去に優勝経験のある国がいる「死のグループ」と言われる組に入ってしまいました。しかし、優勝経験のあるドイツ、スペインを次々撃破。正に“ジャイアントキリング”で大番狂わせを二度も起こしました。

心躍る出来事もある一方で、3年前からいまだに続いているコロナ禍で、精神的にも肉体的にも辟易としている状況が続いています。ロシアのウクライナ侵攻や円安などからモノの値段が上がり、この物価上昇も私たちの生活に大きく影響を及ぼしています。

新しい年を迎えすっきりとしない状況ですが、この状況が自然に良くなっていくことはないと思うのです。この生活状況を一新していくには私たち一人ひとりの力が必要になってくると感じますが、“政治の力”はもっと重要だと痛感します。この政界でもジャイアントキリングを期待します。

本年もよろしくお願い申し上げます。

予定調和を壊す

ヨーロッパでは、冬にココアに少量のバターを入れて飲む習慣があり、その飲み物はよりコクが増し美味しくなるそうです。しかし、日本ではあまり知られていません。

そこで、「秋から冬の夜長には、バターをひとかけら入れた温かいココアを片手に文庫本を読もう」といった提案をしたら、今までにない組み合わせを多くの人が新鮮に感じるのではないかという話です。 ココアもバターも文庫本自体は特別に目新しくもありません。

数々の名曲の作詞や社会現象ともいえるブームをいくつも巻き起こし、時代の最先端を走り続けている秋元康さんは、単に奇をてらうということではなく、大切なのは今まで普通だと思われてきたものを根本から疑い、結果的に人々の心に響くものを創っていくことを「予定調和を壊す」と表現しています。ココアとバターと文庫本の組み合わせのように、どこにでもある商品のように見えて、他とは違って「おや」と思わせることが予定調和を崩すことになります。

予定調和とはもともと哲学用語で、「世界の秩序が保たれるのは神があらかじめうまく調和するように定めたからである」という説だそうですが、日本では「誰もが予想する流れ通りにものごとが進み、結果の予想通りである」という意味で使われています。

私たちの周りには当たり前がたくさんあります。いろんなものを組み合わせることで新たなビジネスも生まれてくると思います。勝ち残っていくためには当たり前に変化を加えることが重要ですね。

HAPPY
NEW
YEAR

【座右の銘にしたい名言】

志を立てるのに、老いも若きもない。そして志あるところ、老いも若きも道は必ず開けるのである。　（松下幸之助 / パナソニック創業者）